

1 この科目の構成について (改行は Alt + Enter)

教科	保健体育	科目	保健	単位	1 単位
対象コース	全コース	コース	対象クラス	1 年	1～9 組
使用教科書	大修館書店 現代高等 保健体育				
使用副教材	なし				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について (改行は Alt + Enter)

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

1. 心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって計画的に運動に親しむ能力や資質を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を身につけます。
2. 私たちが暮らす現代社会は昔と比べるととても豊かになりましたが、生活習慣病や薬物、ストレスなどの健康にかかるとなる問題は少なくありません。時代の流れの中で健康自体の捉え方や個人や社会に求められることも変化しています。現代の健康問題や新しい時代の健康の考え方などについて学習します。

学習内容：この科目で学習する大まかな内容

1. 我が国の疾病構造や社会の変化に対応し、健康を保持増進するためには、ヘルスプロモーションの考え方を生かして健康に関する個人の適切な意志決定や行動選択および健康的な社会環境づくりを行うことが重要であることを理解できるようにします。
2. 思春期から高齢社会までの生涯の各段階における健康課題への対応と保健・医療制度や地域の保健・医療機関の適切な活用および環境と食品の保健、労働と健康など社会生活との関わりを含めた総合的な理解を深めることができますようにします。

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1) 学校

図書室などを利用して、実際に起きている問題を授業の内容と照らし合わせ、より深い興味・関心を持つようにし

(2) 家庭

情報機関（新聞など）を利用して、実際に起きている問題を授業内容と照らし合わせ、より深い興味、関心を持つようにしてください。

3 この科目の評価方法について (改行は Alt + Enter)

評価方法：何をを使って評価するのか

- 行動観察・・・毎時間、学習環境を整えて、自主的に授業参加（発言、板書など）しているか確認します。
- ノート確認・・・定期的にノート確認をし、各自の学習意欲を確認します。レポートの提出もあります。
- 定期考査・・・期末ごとに考査を実施し、習熟度を確認します。

評価における定期考査の割合

70 %

4 この科目の評価の観点について (改行は Alt + Enter)

評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか

(1) 知識・技能

現代社会と健康、安全な社会生活、生涯を通じる健康、健康を支える環境づくりについて、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解するとともに、心肺蘇生法等を実施できる。

(2) 思考・判断・表現

現代社会と健康、安全な社会生活、生涯を通じる健康、健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題を



発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えることができ

(3) 主体的に学習に取り組む態度

現代社会と健康、安全な社会生活、生涯を通じる健康、健康を支える環境づくりについて、主体的にねばり強く学

習に取り組もうとしている。

5 この科目の学習計画について (改行は Alt + Enter)

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
1		・オリエンテーション	ガイダンス 道徳教育の実施	○	○	○	
		道徳					
	4	1 単元 現代社会と健康 ・健康の考え方と成り立ち ・私たちの健康のすがた	わが国の現在の健康水準や健康問題の変化、および今日の健康課題について学習します。健康の成立要因をふまえて、自分なりの健康の捉え方について考え、学習します。	○	○	○	
							
	5	・生活習慣病の予防と回復	生活習慣病の種類とその要因について学ぶとともに、予防、早期発見、個人や社会の対策について学習します。	○	○	○	
	6	・がんの原因と予防 ・がんの治療と回復	わが国の死因の第1位となっているがんについて、その種類、原因、予防、治療について学ぶとともに、社会的対策の現状と必要性について学習します。	○	○	○	
		・第1回考査					
	7	・運動と健康 ・食事と健康 ・休養・睡眠と健康	運動、食事、休養・睡眠といった生活習慣が、生活習慣病の予防をはじめ、健康の保持増進に大きく関連していることを学ぶとともに、人々が適切なライフスタイルを身につけるため	○	○	○	
	7	・喫煙と健康 ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康	喫煙、飲酒、薬物乱用が心身にもたらす健康問題と社会問題について学ぶとともに、それらの問題を改善するための、個人や社会の対策について学	○	○	○	
2	8	・精神疾患の特徴 ・精神疾患の予防	おもな精神疾患と要因、予防と治療、また精神保健	○	○	○	
	9	・精神疾患からの回復	の今日的課題について学ぶとともに、精神疾患の適				
	10	・現代の感染症 ・感染症の予防 ・性感染症・エイズとその予防	新興感染症や再興感染症といった現代の感染症の現状と今日的課題、予防対策について学習します。また性感染症・エイズの実態と課題について、日本および世界の現状を学習します。また感染症予防について、個人や社会の対策	○	○	○	
							
	11	・健康に関する意思決定・行動選択 ・健康に関する環境づくり	健康の保持増進のための意思決定・行動選択の重要性と影響する要因について学び、よりよい意思決定・行動選択の方法や工夫の仕方について学習します。また健康づくりには、ヘルスプロモーションの考え	○	○	○	
		・4回考査					

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
	12	<ul style="list-style-type: none"> 事故の原因と発生要因 安全な社会形成 交通における安全 	わが国の不慮の事故の実態と事故発生に関連する要因について学ぶとともに、安全な社会を形成するための個人や社会の対策について学習します。また、交通事故の防止の観点から、運転者の責任、個人や社会の対策等につ	○	○	○	
3	1 2 3	<ul style="list-style-type: none"> 応急手当の意義とその基 日常的な応急手当 心肺蘇生法 	けがや急病に対する応急手当の意義や方法について学び、日常的な応急手当ができるようになる。また、心肺停止状態の人の命を救うために行	○	○	○	



【SDGsの各ターゲットについて】
ちょっとだけ詳しく内容を知りたい方は、アイコンをクリック



【道徳教育について】
高校の道徳教育についてちょっとだけ知りたい方は
アイコンをクリック

道徳

※FSVに接続してる場合のみ

下のアイコンは、該当する「学習の内容」の場所に
コピーしてご使用下さい

SDGsターゲットアイコン



道徳教育アイコン



※評価の観点

- 知 → 知識・技能
- 思 → 思考・判断・表現
- 主 → 主体的に学習に
取り組む態度

下のアイコンは、該当する「学習の内容」の場所に
コピーして下さい

SDGsターゲットアイコン



道徳教育アイコン

